

2017春季生活闘争

J R 連 合 F A X ニ ュ ー ス No. 15

2017年2月22日

日本鉄道労働組合連合会

貨物鉄産労が2017春闘要求を提出！ 定昇4号俸実施後、組合員一人3,000円の引上げ 期末手当年間4.5か月以上を要求

貨物鉄産労は、JR連合中央委員会の方針を受け、2月11日に開催した第30回中央委員会代表者会議で決定した2017春闘に関する要求を会社に提出した。

内容は、①定昇4号俸実施した上で、組合員一人3,000円以上引き上げ、②平成14年以前に採用された54歳までの社員に対して基本給に定期昇給4号俸プラス1号俸を引き上げ、③55歳以上の賃金ダウン幅を30%から15%へ、④60歳以上の嘱託社員組合員に全員一律基本給1万円上積み、⑤パート社員時給40円以上引上げ、また時給1,000円未満は1,000円に、⑥2017期末手当年間最低4.5ヶ月以上、等である。なお、諸要求については、20項目にわたり申し入れた。

要求の趣旨説明行う

2月16日、提出した2017春闘要求書の趣旨説明を行った。具体的には、①17年間預けているベアの実施、②55歳以上組合員の賃金ダウンの改善、③若年退職に歯止めをかける処遇改善、④契約社員、パート社員の正社員化と賃金引き上げ、⑤各ロジ会社の要員不足解消に向けた対応など多岐にわたって、要求にあたっての考え方を示した。